

談

dan



夢にたどりつき14年 良き出会いに支えられ

愛と浄化の歌を歌いたい①

豊岡厚恵さん

とよおか・あつえ

シャンソン歌手



透き通る歌声。丁寧な語り口と朗らかで、ちゃめっ気もたっぷりなステージング。一度はあきらめた歌の世界で、シャンソンを歌い始めて14年、東日本大震災の際には現地に駆けつけた豊岡厚恵さん(51)。一方でかつてはメーカーの事務員やアナウンサー、女優として、そして今は接遇マナー研修の講師としても活躍を続けている。そのマルチで元氣な活動の源は、「素晴らしい方々との良き出会い」なのだという。

——豊岡さんとも知り合いの友人に誘われて、初めて歌

をお聴きしたのが3月の大阪府東大阪市でのコンサートでした。終わってすぐ、この人に取材してみたいな!と思いましたが、すてきなステージでした。

豊岡 ええっ! ありがとうございます! うれしいです! 本当に友人に感謝ですね。そのつどありがたい出会いをいただけて助けてもらってきたんです。今回もまた最高の出会いをいただきました。——ステージをみていけば出合いが多いのも分かります。観客からの拍手や笑い、本当に温かい。歌詞が飛んだことさえ、まるで最初から考

えていたネタのようにほんわりとした笑いに変わるんですから、みんなに愛される魅力がある。そのほんわりした雰囲気、さまざま施設を慰问したりしているんですね。おじいちゃんおばあちゃんとも仲良くなれそう。

豊岡 幼いころからおばあちゃんが好きなおばあちゃん子でした。でも30代のころ仕事で忙しいことなどを言い訳に、当時は自分のことしか見えず、認知症になった祖母に何もしてあげられないまま見送ったんです。そのことが何よりつらくて。——30代は懸命に仕事をす

る一方で、どうしても周りが見えにくくなるし、家族や親戚のこともおろそかになりがちですよね

豊岡 老人ホームの慰問に行かせていただくと、シャンソン以外に美空ひばりさんの曲や童謡、唱歌などを歌うことも喜んでくれます。その皆さんの笑顔に逆にこちらがエネルギーをいただいたりしています。祖母にしてあげられなかった分、慰問をさせてもらえて幸せに思います。

——3月のステージで、デビューから今年で14年とおっしゃってました。歌手としては遅めのデビューだったんですね

豊岡 本当に長い道のりだったかもしれません。でも決して回り道というわけではなく、過去の経験のすべてが、歌うための一筋の道でつながっていたのだと思っています。

昭和39年11月14生まれ。大阪市出身。高校卒業と同時にプロダクション入りし、女優として人気ドラマ「部長刑事」などに出演。その後メーカーの事務職や、国際花と緑の博覧会(平成2年)でパビリオンのパフォーマンスレディアナウンサーに。同時に接客マナーを身につけて指導をする傍ら、14年に歌手としてプロデビューを果たす。昨年から東京都内でもライブを行うなど活動の場を広げている。



...continued

聞き手 藤浦淳/撮影 門井聡